

Block 1-4 期 チュートリアル課題

この量で大丈夫?

(薬物の作用機序・薬物動態)



無断で複写 又は 転載すると著作権侵害となる場合がありますのでご注意ください。

2008

TWMU BLOCK 1-4

薬理学教室 丸義朗
須藤遥

シート1

夕方から熱を出してしまった女子医大生の良子さんは、戸棚から薬箱を出してきました。普段無口なお父さんは少し心配そうです。

父「良子、薬箱なんか出してきてどうしたんだい？」

良子「うん、少し熱があるからバファリン®を飲もうと思って」

父「ああ、その薬だったらお父さんも飲んでよ、もっと小さいけれど」

良子「え？熱もないのに？」

【抽出を期待する事項】

バファリンの成分とは？

⇒アスピリンの作用

お父さんの薬は、私が飲もうとしている薬より小さい？

⇒アスピリンの作用機序（解熱作用、血小板凝集抑制）

（発熱の機序）

（血小板血栓形成機序）

シート2

熱が下がって数日後、薬のことを調べた良子さんは、お父さんの場合は少量でよいこと等をきちんと話してあげました。

父「なるほど。薬の量を守ることは大切なんだね」

良子「そうよ、量が多くても少なすぎてもだめなのよ」

父「お父さんの薬は、小さいし一日一回飲むだけでいいからその点は楽だよ」

良子「そうね、口から飲める薬は楽でいいわよね」

【抽出を期待する事項】

薬の量を守る

量が多すぎても少なすぎてもだめ？

⇒薬物の用量と反応の関係

⇒アスピリンの有害反応

一日一回飲む

口から飲める薬

⇒薬物の体内動態（吸収、分布、代謝、排泄）

⇒薬物の投与経路（剤形）